

# 平成31年度 事業報告書

## 1 平成31年度 重要施策 事業報告

### (1) 障がい者支援の取り組み

#### ① 社会参加の機会の提供

買い物学習・バザー・地域の行事等への参加機会を提供しました（6ページ参照）。

企業からの下請け作業の受注などを通して、障がい程度に合わせた経済活動への参加機会を提供しました。

#### ② 医療ケアの充実

リハビリ専門職(理学療法士)による指導のもと、タオル体操・個別リハビリを行いました。日常生活動作の低下を防ぎ、運動不足の解消をはかりました。

通院ケアについては、コロナウイルス感染症対策を徹底し、電話診療などで調整を行いました。

#### ③ 短期入所・日中一時支援の取り組み

感染症対策のため、短期入所・日中一時支援の利用者を制限しました。

インターネットでの情報発信を定期的に行い、利用者の方とのつながりを絶やさないう心掛けました。

## (2) 採用・教育関連の取り組み

### ① 人材育成

西南学院大学からのスーパーバイザー（准教授）招聘、他施設との合同研修、各分野の専門研修や施設内研修などへの参加を通じて、個々の障がいのある方に適したサービス提供を行いました。

### ② 職員の確保

年々困難になる職員確保のため、ホームページ等からの情報発信や紙媒体による求人活動を行いました。また、人材紹介会社との連携を図り、職員を確保しました。

## (3) 設備投資

### ① 男性浴室の改装

昨年度の女性浴室改装事業に引き続き、平成31年度は男性浴室改装事業を行いました。色合いに工夫をし、利用者様がくつろげる空間作りにしました。

### ② コピー機の更新

事務作業に使用している家庭用コピー機を業務用コピー機に更新しました。

わたつみの里 年間行事スケジュール

月	行事
6月	バスハイク (太宰府天満宮)
7月	夏行事 (志賀島国民休暇村)
8月	BBQ (施設内)
9月	ふれあい広場 (イオンモール香椎浜) 男性浴室改装終了 (施設内)
10月	芋ほり (雁ノ巣レクリレーションセンター) 秋まつり (施設内)
11月	東福岡特別支援学校PTAバザー
12月	餅つき (施設内) クリスマス会 (施設内)
2月	文殊まつり (志賀島荘厳寺)
3月	はるかぜマラソン (海浜公園) 中止

# 1 各事業の現況 [令和2年3月31日現在]

## (1) 障がい者支援施設 わたつみの里 (入所) の状況

### I 入居者の年齢分布

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	1	0	4	7	1	1	2	1	17
女性	0	2	1	7	3	2	0	0	15
計	1	2	5	14	4	3	2	1	32

説明：① 平成31年度中の入退所状況は、入所1名・退所1名です。

② 入居者の平均年齢は45.9歳(平成30年度比+3.4歳)です。

### II 入居者の障がい区分

区分	軽度 ←————→ 重度						合計
	1	2	3	4	5	6	
男性	0	0	0	7	8	2	17
女性	0	0	1	3	6	5	15
計	0	0	1	10	14	7	32

説明：① 入居者は、支援区分5(重度)・区分6(最重度)の方の比率が、65.6%です。

## (2) わたつみの里 生活介護事業所（通所）の状況

### I 利用者の年齢分布

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	1	1	4	3	0	0	0	0	9
女性	0	1	1	2	1	0	0	0	5
計	1	2	5	5	1	0	0	0	14

説明：① 平均年齢は36.6歳(平成30年度比+3.5歳)です。

### II 利用者の障がい区分

区分	軽度 ←————→ 重度						合計
	1	2	3	4	5	6	
男性	0	0	0	2	3	4	9
女性	0	0	0	1	2	2	5
計	0	0	0	3	5	6	14

説明：① 通所者の支援区分ごとの比率は、区分4（中度）の方が21.4%、区分5（重度）の方が35.7%、区分6（最重度）の方が42.9%です。

## (3) わたつみの里 短期入所・日中一時支援事業の状況

年度	延べ利用者数	(短期)	(日中)	利用率(各4名定員) /年
H30	1,145	(1,056)	(89)	72.3%
H31	865	(828)	(37)	54.6%
前年比	▲130	(▲228)	(▲52)	▲17.7%

説明：① コロナウイルス感染症対策のため、利用制限をかけたことにより前年度比▲17.7%の減少となっています。

#### (4) わたつみの里 相談支援事業所の状況

年度	新規契約者	継続利用者	合計
H30	11	73	84
H31	0	79	79
前年比	▲11	6	▲5

説明 ① 継続利用者の相談業務を主に行い、他事業所との連携を密にしました。

## 2 入居者・利用者の健康状況 [平成31年3月31日現在]

### (1) 平成31年度の概要

- ▶ 集団感染症の発生は、ありませんでした。
- ▶ 入居者2名が骨折により通院を行っています。
- ▶ AED(自動体外式除細動器)・救急蘇生法研修を職員向けに実施しました。
- ▶ 通院状況(延べ人数) ※歯科は訪問を含む

科目	内科外科	歯科	精神科	皮膚科	眼科	その他	合計
H30	424	496	173	118	24	13	1,248
H31	311	504	172	58	13	15	1,073
前年比	▲113	+8	▲1	▲60	▲11	+2	▲175

説明：① 内科、外科、眼科受診については、H30に比べ、症状の安定により通院回数の減少につながっています。

### 3 職員の状況

#### (1) 支援職員数の推移 [令和2年度4月1日現在]

支援部	正職員		契約職員		派遣職員		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H31	5	6	3	4	1	2	9	12
R2	4	3	4	3	1	8	9	14
前年比	▲1	▲3	+1	▲1	±0	+6	±0	+2

- 説明：① 正職員の比率は、H31（52%）・R2（30%）です。  
 ② 平成31年度中の退職者は4名、採用者は1名です。  
 また現在育休中の職員1名（支援部）がおります。

#### (2) 福祉系資格保有者の状況 [令和2年3月31日現在]

科目	社会福祉士	介護福祉士	保育士	合計
H31	2	8	4	14
R2	2	8	4	14
前年比	0	0	0	0

- 説明：① 職員の技能や職業倫理向上のために、国家資格等の取得を奨励しています。  
 ② 有資格者数が支援職員数の35%以上となるため、福祉専門職員配置等加算Iを取得しています。